挑むべき未来の津市へつなぐ３つのテーマ

テーマ１　都市の未来

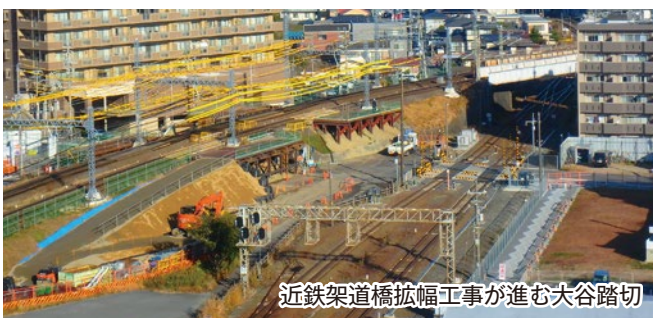
市民の命と財産を守る都市基盤

三重県内で初めて国の大規模雨水処理施設整備事業に採択された浸水対策事業の**半田川田排水区**および**藤方第二排水区雨水幹線築造**を着実に進めてまいります。**香良洲高台防災公園**は、令和４年度末に事務所機能や休憩所機能、備蓄機能を有する施設と屋内運動施設が完成し**500人の屋内避難**が可能となりました。令和５年度は多目的グラウンドや多目的広場、トイレ等の工事に取りかかるとともに、火災発生時の消火や避難者の生活用水を確保するための耐震性防火水槽を設置します。また、旧三重武道館跡地に建設中の**北消防署**は、令和５年度末の開署に向けて工事を進めてまいります。

築造工事が進む半田川田第１雨水幹線

道路ネットワーク

上浜元町線をはじめとする旧10市町村をつなぐ道路の整備を進めてきました。美杉町下之川地域の新たな幹線道路となる**下之川バイパス**は、令和11年度の完成に向け、脇ヶ野篠ヶ広線の新設改良工事を進めます。**大谷踏切**は、昨年８月にＪＲ踏切道の踏切保安施設の設置完了によりＪＲの工事が終了しましたので、９月からＪＲ踏切道を工事用道路として活用し**近鉄架道橋拡幅工事**の作業用の架台を設け、仮の橋桁を支える杭の設置を行っています。令和５年度は、仮の橋桁の設置と旧の橋桁の撤去を行うとともに、新しい橋台の建設に向けた旧の橋台の撤去工事を開始し、踏切西側の市道一身田小学校大谷町線の拡幅工事にも着手します。**津興橋**は、令和２年度から進めていた旧橋の橋脚の撤去を昨年４月末に完了させました。令和５年度は、新橋の橋脚１基を完成させ残り２基の橋脚設置に取りかかり、右岸側の旧橋の橋台を撤去するとともに、新橋の橋台設置を進め新橋上部工にも着手し、令和７年度の供用開始に向けた工事を着実に進めてまいります。


近鉄架道橋拡幅工事が進む大谷踏切

津駅周辺、大門・丸之内地区

久居アルスプラザの整備など、副都市核である久居駅周辺地区の都市機能の拡充が完了しましたので、都市核を構成する津駅周辺や大門・丸之内地区のまちづくりを進めてまいります。

津駅周辺は、昭和48年に今の駅ビルや津駅西口ロータリーができてから50年が経過する中、国・県との連携の下、昨年７月に津駅周辺道路空間再編検討委員会を設置し、県が昨年10月に行ったにぎわい創出に向けた社会実験を踏まえた交通結節点の機能強化の検討などを行っています。国のバスタプロジェクトにおいて、１都道府県に２つ以上のプロジェクトが進行しているのは、**東京都、神奈川県、三重県だけ**であり、三重県では近鉄四日市駅交通ターミナルと津駅周辺の２つのプロジェクトが進行し、津駅周辺については**バスタプロジェクトにつながる機能強化の必要性等の調査**が進められます。

大門・丸之内地区は、官民の多様な関係者の参画の下、３月に未来ビジョンを策定し、これを基に、官民連携の取り組みを展開する実践的な場としてにぎわい創出実証実験や情報発信などを行うとともに、**エリアの価値を高めるまちの実現**に向けて、地域の皆さまの意向を伺ってまいります。

津駅東口通りでの県の社会実験の様子

リニア中央新幹線

リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会が県内駅位置を亀山市内の３カ所から選定するようＪＲ東海に要望され、令和５年度中に概略のルートと駅位置が示される見込みとなっています。**三重県駅を中心とした広域的な都市づくり**を意識し、地域の新たなポテンシャルについて考察を深めてまいります。